

1 学習進路だより 12月号

自分の夢や理想と、その実現方法について考えてみよう の巻

前回、自分の理想の生き方について考えてみましょうという話をお届けしました。

でも、悩んでいる人もいるようです。悩みはいろいろですが、ひとまずこちらから。



01 自分の「やりたいこと」がまだわからない、という人へ。

◆「好きなものはあるけど、やりたいことかといふと……仕事としてやっていけるかもわからぬし……」

なるほど。前回もお話しした通り、夢は職業に限らなくてもいいのですが、あえて職業について考えるなら、まずは自分の好きなものに関する仕事にはどんなものがあるのか、知るところから始めてみましょうか。やれるかどうかを考えるのは後回し！（目指せばいいので！） 例えば、プロサッカーの1試合を考えて、その試合を成立させるためには多くの人がさまざまな仕事をしています。ある人にちょっと考えてみてもらいました。



選手だけで試合はできない。監督にコーチ、審判員、ボールを拾うボールパーソンも必要だね。雇う選手や監督を決めるのは誰？ スカウトの情報を集める人も必要だぞ。試合の組み合わせや日程は誰がどうやって決めてる？ 練習場所の確保はどうやって？ 試合をするスタジアムは？ その掃除やメンテナンスは？ 用具や設備を作るのは？ 選手の移動にバスを使えば運転手を雇わないと。観客へのチケット販売は？ 宣伝は？ ポスターのデザインは？ その印刷は？ チームの応援グッズ作るのは？ お金の管理は？ 給料の計算は？ 会場には警備員もいるな。入場の受付も必要だし。巨大なモニターや照明を作るのは？ 会場の音楽は誰が決めて流してる？ 試合後のインタビューをするのは？ それを記事にするのは？ テレビやラジオで放送するならカメラマンや実況者（ひとまずそこまで！）

こんな風に、イベントや身近な製品がどうやってできているのかを細かく&深掘りして考えてみると発見があるかも。廊下にある学習進路部蔵書にも、そんな観点で仕事を見られる本がありますよ。視野が広がります。ぜひチェック！

◆「そもそも自分が何をしたいのか、何に興味があるのかが全然わからないんだよね……」

そんな場合は、逆を考えてみるのもアリ。つまり「これは嫌い」「これは絶対にやりたくない」を明確にするのです。それが分かれば、それ以外は「自分にとって比較的良く思える（かもしれない）」ということ。あとは、興味をもてるかどうか、心地よいと思えるかどうかをどんどん試してみれば、何かが見えてくるはず。

好き嫌いの判断のためにも、まずはアンテナを高くして、いろいろなもののが存在を知り、触れてみることが大切です。普段から、「ちょっと興味あるかも……」「なんか気になる……」と思ったものをメモしておくのも良いでしょう。けっこう忙しさにまぎれて忘れてしまうものなので。「気になることリスト」、作ってみませんか。

02 目標はあるけど、実現のために何をしたらいいんだー！？ という人へ。

目標達成のためのアイデア出しによく使われるのが「マンダラート」です。①まず、3×3の中心のマスに自分が実現したいことを書き、②周囲のマスにはその実現のために必要な要素を書いていきます（ここまでが簡易版です）。さらに③として、②で書いた周囲8つのマス一つ一つについて、それを実現するためにやるべきことを8つずつ、考えたり調べたりして書いていきます。そうやって

①を実現するために必要な行動を具体的にしていくわけです。（「未来の自分発見講座」で皆さんに実際に作ってもらう予定です！）

あの大谷翔平選手も、高校時代、「8球団からドラフト1位の指名を受ける」という目標を達成するためにマンダラートを書いて、そこに挙げたことを実践していったそうです。彼がどんなことを書いていたのか、ぜひ調べてみてください。

自分の夢は、人に伝えていきましょう。話すことで、気が付くこともあります。思い切って言葉にしてみましょう！そして、

03 言葉にしたものを見せて、やれることからやっていきましょう！

2 学習進路だより 12月号

具体的に考えてみよう

自分の夢や理想と、その実現方法について考えてみよう の巻

前回、自分の理想の生き方について考えてみましょうという話をお届けしました。

でも、悩んでいる人もいるようです。悩みはいろいろですが、ひとまずこちらから。



01 自分の「やりたいこと」がまだわからない、という人へ。

◆「好きなものはあるけど、やりたいことかといふと……仕事としてやっていけるかもわからぬし……」

なるほど。前回もお話しした通り、夢は職業に限らなくてもいいのですが、あえて職業について考えるなら、まずは自分の好きなものに関する仕事にはどんなものがあるのか、知るところから始めてみましょうか。やれるかどうかを考えるのは後回し！（目指せばいいので！） 例えば、プロサッカーの1試合を考えて、その試合を成立させるためには多くの人がさまざまな仕事をしています。ある人にちょっと考えてみてもらいました。



選手だけで試合はできないな。監督にコーチ、審判員、ボールを拾うボールパーソンも必要だね。雇う選手や監督を決めるのは誰？ スカウトの情報を集める人も必要だぞ。試合の組み合わせや日程は誰がどうやって決めてる？ 練習場所の確保はどうやって？ 試合をするスタジアムは？ その掃除やメンテナンスは？ 用具や設備を作るのは？ 選手の移動にバスを使えば運転手を雇わないと。観客へのチケット販売は？ 宣伝は？ ポスターのデザインは？ その印刷は？ チームの応援グッズ作るのは？ お金の管理は？ 給料の計算は？ 会場には警備員もいるな。入場の受付も必要だし。巨大なモニターや照明を作るのは？ 会場の音楽は誰が決めて流してる？ 試合後のインタビューをするのは？ それを記事にするのは？ テレビやラジオで放送するならカメラマンや実況者（ひとまずそこまで！）

こんな風に、イベントや身近な製品がどうやってできているのかを細かく&深掘りして考えてみると発見があるかも。廊下にある学習進路部蔵書にも、そんな観点で仕事を見られる本がありますよ。視野が広がります。ぜひチェック！

◆「そもそも自分が何をしたいのか、何に興味があるのかが全然わからないんだよね……」

そんな場合は、逆を考えてみるのもアリ。つまり「これは嫌い」「これは絶対にやりたくない」を明確にするのです。それが分かれば、それ以外は「自分にとって比較的良く思える（かもしれない）」ということ。あとは、興味をもてるかどうか、心地よいと思えるかどうかをどんどん試してみれば、何かが見えてくるはず。

好き嫌いの判断のためにも、まずはアンテナを高くして、いろいろなもののが存在を知り、触れてみることが大切です。普段から、「ちょっと興味あるかも……」「なんか気になる……」と思ったものをメモしておくのも良いでしょう。けっこう忙しさにまぎれて忘れてしまうものなので。「気になることリスト」、作ってみませんか。

02 目標はあるけど、実現のために何をしたらいいんだー！？ という人へ。

目標達成のためのアイデア出しによく使われるのが「マンダラート」です。①まず、3×3の中心のマスに自分が実現したいことを書き、②周囲のマスにはその実現のために必要な要素を書いていきます（ここまでが簡易版です）。さらに③として、②で書いた周囲8つのマス一つ一つについて、それを実現するためにやるべきことを8つずつ、考えたり調べたりして書いていきます。そうやって

①を実現するために必要な行動を具体的にしていくわけです。（「未来の自分発見講座」で皆さんに実際に作ってもらう予定です！）

あの大谷翔平選手も、高校時代、「8球団からドラフト1位の指名を受ける」という目標を達成するためにマンダラートを書いて、そこに挙げたことを実践していったそうです。彼がどんなことを書いていたのか、ぜひ調べてみてください。

自分の夢は、人に伝えていきましょう。話すことで、気が付くこともあります。思い切って言葉にしてみましょう！そして、

03 言葉にしたものを見せて、やれることからやっていきましょう！

3 学習進路だよい 12月号

具体的に考えてみよう

自分の夢や理想と、その実現方法について考えてみよう の巻

前回、自分の理想の生き方について考えてみましょうという話をお届けしました。

でも、悩んでいる人もいるようです。悩みはいろいろですが、ひとまずこちらから。



01 自分の「やりたいこと」がまだわからない、という人へ。

◆「好きなものはあるけど、やりたいことかといふと……仕事としてやっていけるかもわからぬし……」

なるほど。前回もお話しした通り、夢は職業に限らなくてもいいのですが、あえて職業について考えるなら、まずは自分の好きなものに関する仕事にはどんなものがあるのか、知るところから始めてみましょうか。やれるかどうかを考えるのは後回し！（目指せばいいので！） 例えば、プロサッカーの1試合を考えて、その試合を成立させるためには多くの人がさまざまな仕事をしています。ある人にちょっと考えてみてもらいました。



選手だけで試合はできない。監督にコーチ、審判員、ボールを拾うボールパーソンも必要だね。雇う選手や監督を決めるのは誰？ スカウトの情報を集める人も必要だぞ。試合の組み合わせや日程は誰がどうやって決めてる？ 練習場所の確保はどうやって？ 試合をするスタジアムは？ その掃除やメンテナンスは？ 用具や設備を作るのは？ 選手の移動にバスを使えば運転手を雇わないと。観客へのチケット販売は？ 宣伝は？ ポスターのデザインは？ その印刷は？ チームの応援グッズ作るのは？ お金の管理は？ 給料の計算は？ 会場には警備員もいるな。入場の受付も必要だし。巨大なモニターや照明を作るのは？ 会場の音楽は誰が決めて流してる？ 試合後のインタビューをするのは？ それを記事にするのは？ テレビやラジオで放送するならカメラマンや実況者（ひとまずそこまで！）

こんな風に、イベントや身近な製品がどうやってできているのかを細かく&深掘りして考えてみると発見があるかも。廊下にある学習進路部蔵書にも、そんな観点で仕事を見られる本がありますよ。視野が広がります。ぜひチェック！

◆「そもそも自分が何をしたいのか、何に興味があるのかが全然わからないんだよね……」

そんな場合は、逆を考えてみるのもアリ。つまり「これは嫌い」「これは絶対にやりたくない」を明確にするのです。それが分かれば、それ以外は「自分にとって比較的良く思える（かもしれない）」ということ。あとは、興味をもてるかどうか、心地よいと思えるかどうかをどんどん試してみれば、何かが見えてくるはず。

好き嫌いの判断のためにも、まずはアンテナを高くして、いろいろなもののが存在を知り、触れてみることが大切です。普段から、「ちょっと興味あるかも……」「なんか気になる……」と思ったものをメモしておくのも良いでしょう。けっこう忙しさにまぎれて忘れてしまうものなので。「気になることリスト」、作ってみませんか。

02 目標はあるけど、実現のために何をしたらいいんだー！？ という人へ。

目標達成のためのアイデア出しによく使われるのが「マンダラート」です。①まず、3×3の中心のマスに自分が実現したいことを書き、②周囲のマスにはその実現のために必要な要素を書いていきます（ここまでが簡易版です）。さらに③として、②で書いた周囲8つのマス一つ一つについて、それを実現するためにやるべきことを8つずつ、考えたり調べたりして書いていきます。そうやって

①を実現するために必要な行動を具体的にしていくわけです。（「未来の自分発見講座」で皆さんに実際に作ってもらう予定です！）

あの大谷翔平選手も、高校時代、「8球団からドラフト1位の指名を受ける」という目標を達成するためにマンダラートを書いて、そこに挙げたことを実践していったそうです。彼がどんなことを書いていたのか、ぜひ調べてみてください。

自分の夢は、人に伝えていきましょう。話すことで、気が付くこともあります。思い切って言葉にしてみましょう！そして、

03 言葉にしたものを見せて、やれることからやっていきましょう！